

2022年9月

企画展

がこうえ

画工画

明治の画工、世界に挑む

- 会期 : 2022年9月10日(土)→12月19日(月)
第Ⅰ部: 高島屋の画室 9月10日(土)～10月24日(月)
第Ⅱ部: 下画と染織品 11月5日(土)～12月19日(月)
- 会場 : 高島屋史料館 企画展示室 (大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館3階)
- 開館時間 : 10:00—17:00 (入館は閉館30分前まで)
- 休館日 : 火・水曜日 ※10月27日(木)→11月4日(金)は展示替えのため休館
- 入館料 : 無料

高島屋史料館では、2022年9月10日(土)から12月19日(月)まで、
企画展「画工画 明治の画工、世界に挑む」を開催いたします。

明治中期、京都の小さな呉服商であった高島屋は新しく貿易業を始めました。輸出したのは美術染織品。当時、「画工」と呼ばれた人々が描いた下画をもとに、職人が染・織・刺繍を駆使して額絵や壁掛、屏風などに仕立てました。高島屋の製品は世界各国の博覧会で高い評価を受け、異国の邸宅を彩る室内装飾品として続々輸出されました。世界市場を視野に入れた製品の画は、伝統的な日本の絵画を基本としつつも、洋風のモチーフや構図を意欲的に取り込んだ斬新な画が多く見られます。

世界が認めた製品の画を描いたのは誰か。今に残る書簡や出勤簿から、岸竹堂・今尾景年・幸野煤嶺・竹内栖鳳ら、名だたる面々が手がけていたことが知られます。けれども、下画は下画であるが故に、署名も印も残されていません。そんな“名も無き”画工たちによる下画の数々と稀少な製品の展覧を通して、世界に挑んだ明治の画工の気概と矜持を感じていただければ幸いです。



※本展は会期をⅠ部・Ⅱ部に分け、展示作品をすべて入れ替えて構成します(一部、展示資料を除く)。

第1章 輸出掛画室の開設

1831（天保2）年、京都で創業した高島屋は、明治に入ると、次第に外国人客を迎えるようになります。「これからは外国人との取引を盛んにせねばならぬ」と、1882（明治15）年頃より、京都の岸竹堂や今尾景年を招いて輸出用染織品の下面制作を依頼しました。やがて輸出掛を設けて画室を開設。画室には竹内栖鳳や都路華香ら、若い画工たちが在籍しました。



友禅《竹と薔薇と鶏図》

友禅師：大久保長吉

明治中一後期

I部展示



下絵《柳に鴨鳥図》 谷口香嶺 1904（明治37）年 I部展示

※本作をもとに製作した刺繍大壁掛（縦3.5×横2.8m）を同年アメリカで開催されたセントルイス万国博覧会へ出品。

勤休簿（画工出勤簿）

1888（明治22）年

I・II部展示（頁替え）

同年2月の竹内棲鳳（栖鳳）

の出勤状況

日	出勤	欠勤	理由
二十	○		
十九	○		
十八	○		
十七	○		
十六	○		
十五	○		
十四	○		
十三	○		
十二	○		
十一	○		
十	○		
九	○		
八	○		
七	○		
六	○		
五	○		
四	○		
三	○		
二	○		
一	○		



染織品製作の様子：明治期

第2章 高島屋飯田貿易店

1889 (明治 22) 年、高島屋当主 四代飯田新七は7カ月余りの欧米視察を行いました。当主の帰国後、1893 (同 26) 年には京都本店の向かい側に高島屋飯田新七東店 (貿易店) を開店。東店は“京都を訪れる外国人が必ず立ち寄る店”となりました。1900 (同 33) 年には、横浜貿易店を開店。高島屋の貿易業はますます拡大していきました。



京都東店 (貿易店) 開店 1893 (明治 26) 年



イギリス登録商標「塔」印 1906 (明治 39) 年 I・II部展示



高島屋飯田貿易店門標 明治期 I・II部展示



卓掛下絵《四季花鳥図》 作者未詳
1909 (明治 42) 年頃 I部展示



卓掛下絵《魚網》 作者未詳 明治中—後期
II部展示

第3章 美術染織の高島屋

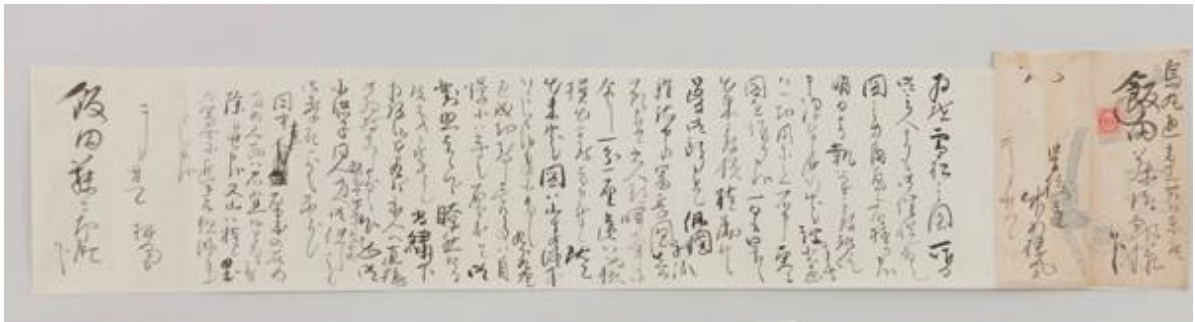
明治期の高島屋は、世界各国で開催された博覧会へも積極的に参加しました。画工が描いた新しい画をもとに、京都の刺繍師や友禅師の手によって製作された刺繍額絵や屏風、ビロード友禅壁掛などを出品して数々の栄誉ある賞を受けました。博覧会への出品・受賞を重ねることは、世界が驚き、世界が認めた“美術染織の高島屋”の名を一層広めることになりました。



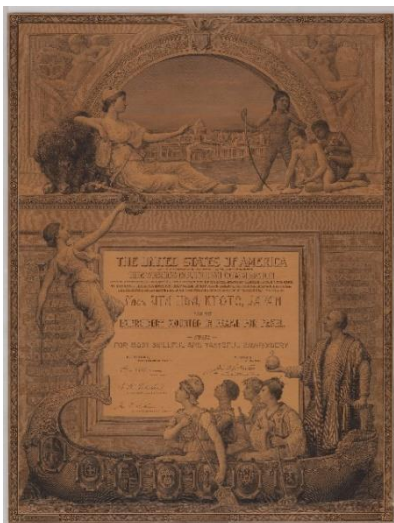
下絵《獅子》神坂松濤 明治中—大正期 II部展示



刺繍《獅子図》作者未詳 明治中—大正期 II部展示



竹内栖鳳書簡 1889（明治32）年2月21日 I部展示 ※1900年パリ万国博覧会への出品作準備中の書簡。



1893年コロンブス世界博覧会賞状
I部展示



1904年セントルイス
万国博覧会
賞牌
I部展示



下絵《岩上大鷲図》作者未詳 明治中—後期
I部展示

【イベントのご案内】

①～③いずれも参加無料、要申込み、抽選制。当館ホームページよりお申込みください。

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。

① 講演会「高島屋 明治期輸出染織品研究の最新トピックス」要申込み・抽選制

講師=廣田 孝氏（京都女子大学名誉教授）

9月18日〔日〕13：00～14：30

会場=多目的ルーム

定員=15名

② 講演会「高島屋の画工たち—竹堂・景年・榎嶺・栖鳳の書簡を読む—」要申込み・抽選制

講師=高井多佳子（高島屋史料館研究員）

11月27日〔日〕13：00～14：30

会場=多目的ルーム

定員=15名

③ 高島屋東別館建物ツアー 要申込み・抽選制

講師=加藤雅久氏（居住技術研究所主宰）

10月23日〔日〕10：30～12：00／14：00～15：30

12月 4日〔日〕10：30～12：00／14：00～15：30

各日2回開催 定員=各回15名

学芸員によるギャラリートーク

会期中の毎週土曜日 14：00～（約30分）

※お申込み不要、開始時間までに企画展示室にお集まりください。

※本リリースに掲載している画像は、本リリースに関する記事掲載目的での利用に限らせて頂いており、画像改変（トリミング、部分使用、文字のせ含む）や、営利目的での使用等、(株)高島屋に許諾されていない態様での画像使用は、かたく禁じます。